

高級ドイツ車メーカーが GlassFish から Payara Server に移行

概要

BMWグループでは、基準への準拠が極めて重視しています。そのため、Payara Serverへの移行の決め手となったのは、これがJava EE準拠のGlassFishアプリケーション・サーバーのリファレンス実装に近かった点でした。

Payara ServerはGlassFishから派生しているため、BMWグループはGlassFishからPayaraに移行するにあたり、これまで蓄積したサーバーに関する知識を活用することができたので、コードを変更する必要もありませんでした。

Payaraへの切り替え

Payaraのサポートチームは、BMWグループが報告する問題の重大度に合わせ、常に適切に対応してくれます。パッチプログラムは定期リリース以外にも、深刻な問題が発生する度に随時リリースされるため、問題を短期間で解決することができます。

問題の根本原因がPayara Serverのソースコードやアプリケーションソースコードのどこにあるかにかかわらず、サポートチームは解決策を突き止め、問題を解決します。□

BMWグループでは、サーバー上のすべての重大な問題が解決されており、新たに特定されたバグも適切に対処されています。

結果と今後の計画

PayaraはBMWグループのサーバーをGlassFishからPayara ServerとJava EE 7にスムーズに移行させました。

PayaraサービスはPayara Server 4.xブランチに対し10年間のサポート保証を提供しているため、□BMWグループのアプリケーションを安定させることができます。

BMW がPayara Server とPayara Support を使 う主な利点:

- GlassFish とJava EE の新機能への互換性
- Java EE アプリケーション へのサポート
- プロフェッショナルサポートを得ながらのオープンソースモデル開発

詳細はwww.payara.fish

をご覧ください。弊社までメール (info@payara.fish) でお問い合わせください

